

## 国際交流やまがた

INTERNATIONAL EDUCATIONAL EXCHANGE IN YAMAGATA



### 巻頭言 留学生別科について

東北文教大学長

内田 英子

東北文教大学短期大学部では1980年以来いろいろな形で留学生を受け入れており、2010年度までにその総数は330名を越えている。本学の留学生受け入れ態勢の最大の特徴は、平成11年（1999年）に開設された留学生別科を備えていることであろう。北海道・東北地区で現在留学生別科を開設している短大は本学のみであり、今年度までの11年間に別科へ受け入れた留学生は271名に達している。本稿では留学生別科について御紹介したい。

留学生別科は大学・短大における教育の一環として、学校教育法に位置づけられた正規の教育課程であり、大学・大学院・短期大学等に留学生として入学する人のために、準備教育として日本語及び日本事情・文化その他必要な科目を教育することを目的としている。その特徴として、留学生は教育環境が整備された大学キャンパスで、精選されたカリキュラムにもとづいて、経験豊富な教員の指導のもとに、日本語教育を受けられることが挙げられる。

本学の留学生別科が開設された土台には、その前に10年間続いた留学生聴講生制度があった。本学では、系列高校である山形城北高等学校と姉妹校盟約を結んだ韓国ソウル市の正義女子高等学校からの留学生2名ずつを短大の聴講生として受け入れ、1年間の日本語集中講座を開講していた。修了生は当時の山形女子短期大学へ入学して優秀な成績を収め、卒業後は日本の四年制大学へ編入したり、帰国したりと進路は様々であったが、いずれも日本語を駆使して企業や翻訳・通訳業、語学学校等で大活躍している。

この講座の評判が地域社会に広がり、外部からの問い合わせが多くなった。そこで、日本での進学を希望する外国人のために留学生別科を開設した。聴講生制度と同じく、大学暦に沿って4月から翌年2月まで、月曜日から金曜日まで1日4コマ（1コマ90分）、週20コマの授業が行われている。カリキュラムは改良を重ね、主教材に沿った日本語総合・日本語演習・日本事情・LL演習など広範囲にわたり、1年間42単位を習得して修了となる。学生たちにとっては、毎日朝から晩まで日本語を学んでいる状態であり、本学や他大学への進学状況から見ても、その成果は充分に上がっているといえよう。

留学生別科学生の出身国は、韓国・中国・台湾・ミャンマー・インドネシア・タイ・モンゴル・インド・ネパールと広範囲にわたっている。学内では別科生も短期大学部の学生として、大学行事のスポーツ祭や大学祭に積極的に参加している。彼らの存在が日本人学生にとっても刺激となり、RIA部（留学生と一緒に遊ぶクラブ）が結成されて活発に活動している。

# 山形県外国人留学生の現況 (高等教育機関関係)

平成22年10月1日現在

(単位：人)

## 1. 費用別外国人留学生数

区分	山形大学	東北芸術工科大学	東北公益文科大学	慶應義塾大学 鶴岡カレッジ	米沢女子短期大学	東北文教大学 短期大学部	羽陽学園短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コンピュータ 専門学校	計
国費	17 (9)	1						5		23 (9)
外国政府派遣	29 (7)							3		32 (7)
韓国政府派遣										0 (0)
エジプト政府派遣				1						1 (0)
県費		1 (1)								1 (1)
私費	171 (78)	13 (4)		4 (1)		25 (19)				213 (102)
計	217 (94)	15 (5)	0 (0)	5 (1)	0 (0)	25 (19)	0 (0)	8 (0)	0 (0)	270 (119)

(注) ( ) 内の数字は、女子で内数。

## 2. 国・地域別外国人留学生数

(単位：人)

区分	山形大学	東北芸術工科大学	東北公益文科大学	慶應義塾大学 鶴岡カレッジ	米沢女子短期大学	東北文教大学 短期大学部	羽陽学園短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コンピュータ 専門学校	計
中国	91 (46)	1				12 (8)				104 (54)
韓国	30 (9)	10 (4)		1		11 (9)				52 (22)
マレーシア	32 (8)	1						3		36 (8)
インドネシア	10 (6)							1		11 (6)
台湾	7 (5)	1				1 (1)				9 (6)
タイ	7 (6)					1 (1)				8 (7)
ベトナム	6 (3)									6 (3)
ミャンマー	6 (3)									6 (3)
アメリカ	6 (1)									6 (1)
モンゴル	3 (2)							1		4 (2)
ラオス	1 (0)							2		3 (0)
バングラデシュ	2 (0)									2 (0)
オランダ	2 (2)									2 (2)
インド				1						1 (0)
ルーマニア				1 (1)						1 (1)
ロシア	1 (0)									1 (0)
エジプト				1						1 (0)
シェラレオネ	1 (1)									1 (1)
フランス				1						1 (0)
イラン	1 (0)									1 (0)
ネパール	1 (0)									1 (0)
イスラエル	1 (0)									1 (0)
エストニア	1 (1)									1 (1)
ガーナ	1 (0)									1 (0)
ウガンダ	1 (0)									1 (0)
デンマーク		1								1 (0)
スリランカ	1 (0)									1 (0)
ジャマイカ	1 (0)									1 (0)
ベネズエラ	1 (0)									1 (0)
ガイアナ	1 (0)									1 (0)
イギリス	1 (1)									1 (1)
ポーランド	1 (0)									1 (0)
カンボジア								1		1 (0)
ブラジル		1 (1)								1 (1)
計	217 (94)	15 (5)	0 (0)	5 (1)	0 (0)	25 (19)	0 (0)	8 (0)	0 (0)	270 (119)

(注) ( ) 内の数字は、女子で内数。

## 3. 住居形態別外国人留学生数

(単位：人)

区分	山形大学	東北芸術工科大学	東北公益文科大学	慶應義塾大学 鶴岡カレッジ	米沢女子短期大学	東北文教大学 短期大学部	羽陽学園短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コンピュータ 専門学校	計
大学の寮等	124 (50)					9 (9)		8		141 (59)
公営住宅	4 (2)									4 (2)
民間会社の社員寮	0 (0)									0 (0)
民間アパート等	87 (41)	15 (5)		5 (1)		9 (5)				116 (52)
その他	2 (1)					7 (5)				9 (6)
計	217 (94)	15 (5)	0 (0)	5 (1)	0 (0)	25 (19)	0 (0)	8 (0)	0 (0)	270 (119)

(注) ( ) 内の数字は、女子で内数。



# 地方別・都道府県別留学生数 (独立行政法人日本学生支援機構)

平成22年5月1日現在  
(単位：人)

地方名	留学生数	構成比	都道府県	留学生数	地方名	留学生数	構成比	都道府県	留学生数			
北海道	2,537 (2,173)	1.6% (1.6)	北海道	2,537	近畿	24,598 (23,085)	17.4% (17.4)	三重	1,004			
				(2,173)				滋賀	477			
								京都	5,896			
								大阪	10,791			
								兵庫	4,637			
								奈良	1,486			
東北	4,221 (4,040)	3.0% (3.0)	青森	600	中国	6,980 (6,472)	4.9% (4.9)	和歌山	307			
			岩手	421				鳥取	202			
			宮城	2,140				島根	218			
			秋田	351				岡山	2,628			
			山形	242				広島	2,538			
			福島	467				山口	1,394			
関東	68,095 (65,008)	48.0% (49.0)	茨城	2,714	四国	1,457 (1,392)	1.0% (1.0)	徳島	355			
			栃木	1,085				香川	411			
			群馬	1,756				愛媛	520			
			埼玉	6,153				高知	171			
			千葉	6,054				九州	18,057 (15,674)	12.7% (11.8)	福岡	9,665
			東京	45,617							佐賀	404
神奈川	4,716	長崎	1,653									
中部	15,829 (14,876)	11.2% (11.2)	新潟	1,597	熊本	756						
			富山	606	大分	4,198						
			石川	1,804	宮崎	168						
			福井	339	鹿児島	644						
			山梨	888	沖縄	569						
			長野	674	計	141,774 (132,720)	100.0% (100.0)					
岐阜	1,439											
静岡	1,709											
愛知	6,773											

( )内は平成21年5月1日現在の数。

## 交流風景



芋煮会 (大学コンソーシアムやまがた)



花笠まつり (山形市国際交流協会)

## 息を呑むようなコントラストに 彩られている街

慶應義塾大学先端生命科学研究所  
博士後期課程3年

ヴァンサン ピラス



初めて日本に来たのは2004年でした。その時、まだフランスで大学に通って、横須賀（神奈川県）でインターンシップを行いました。1年間で日本の生活と文化が好きになって、卒業後また行こうと決めました。それで、2006年大学卒業して、前のインターンシップのおかげで、慶應義塾大学先端生命科学研究所で博士課程を行うことになりました。

初めて鶴岡に来た日は11月の頃でした。駅を出て、回りを見て、静かな街だと思ってたけど、次の日、嵐と雷で強い風が吹いて激しい雨と雹が降って、すごい場所だと思ってました。

今年で4年目です。その4年間鶴岡と山形のことが好きになりました。まだまだ庄内弁は話せないけど、どんどん鶴岡市民になってきます。良く考えたら、こんな場所に住めて、大変良い経験だと思います。綺麗な自然、暖かい人達、美味しい料理、海と山、とても優しい環境で四季をゆっくり過ごせると思います。このような素晴らしい環境で勉強が出来るって日本にはあまりないと思います。刺激的な研究環境で研究に頑張って、リフレッシュが必要なら、海まで15分、スキー場まで30分の距離で、すごく良い場所だと思います。

卒業したら海外に就職すると思いますが、鶴岡での経験を活かして次のステップも頑張って、いつか国際協力で鶴岡に恩返しできるような人間になりたいと思います。

## 日本に来て

鶴岡工業高等専門学校  
制御情報工学科3年

ナツアグドルツ チョイジョルスレン



私は小さい時から日本は工業技術がある国だと思っと思っていました。テレビに出ている相撲やインターネットで色々聞いていて、留学したいと思い、試験を受けて日本に来ました。

日本に来て、2年になります。最初の1年は東京で日本語を勉強して、昨年4月に鶴岡に来ました。日本で勉強することは、とても大変なことだと思います。日本語は難しく、授業の内容は分かり難いです。しかし、先生方と友達はみんな分からないことを教えてくれて、寂しい時には部屋に来てくれます。家族と離れることはちょっと寂しいと感じるけれど、そばにいつも友達がいるから、その気持ちがだんだん無くなりました。人間は一人では生きられません。嬉しい時も、悲しい時も、ずっと私をサポートしてくれる先生方と友達に、心からありがとうと言いたいです。日本に留学して、本当に良かったです。

これから鶴岡高専で生活する中で、たくさんの友達と心に残る忘れられない経験をして、勉強のことも生活のことも頑張りたいと思います。

## 縁の大切さ

東北芸術工科大学大学院  
修士課程1年プロダクトデザイン領域

朴 泳昇(パク ヨンスン)



私は韓国で大学を卒業し、昨年4月に東北芸術工科大学大学院に入学しました。山形には外国人が少ないせい、なぜ東京の大学ではなく山形の大学に進学したかという質問をよく受けます。東北芸術工科大学との縁は、2009年6月の「美術系大学進学説明会」での三橋先生との出会いが始まりでした。日本に来て3ヶ月の私は、自分の作品集すらうまく説明できず、身振り手振りの下手な説明を聞いてくれた先生は「家電に興味があるなら、うちの大学の家電エキスパートの片上先生に紹介してあげるよ。」と教えてくれました。それがきっかけで今の大学院に入学できました。人と人の縁はいつ、どこで、どうやってできるのかわからないものです。韓国語のことわざで「意志があるところに道がある」というのがあります。思いがけない縁がきっかけで、夢を実現できる「道」が広がるかもしれません。国籍も国境も越える縁を大切に、積極的に行動していこうと思います。

## 自然豊かな山形

東北文教大学短期大学部  
総合文化学科1年

金 善恵(キム ソンヘ)



韓国の出身高校との姉妹校がある山形に来てもう2年目になりました。私が山形に初めて来た時、田舎ですごく驚きました。韓国では2~3分間隔で電車が来るのが当たり前だと思っていたのに山形では1時間間隔で、私はなかなか慣れることができませんでした。私にとって山形はとても面白くない住みにくい田舎というイメージしかありませんでした。しかし、今は山形に慣れて、電車の時間もほとんど覚えているし、電車の時間に合わせて出かけるのも普通のことになりました。山形はいろいろ不便なこともありますが、自然の豊かないいところだと思います。山形で見た春の桜や冬の雪はとても美しいと思います。ソウルでは絶対見られない景色だと思います。また、山形で夏に食べられるさくらんぼや秋のラフランスはとてもおいしかったです。最初は嫌いだった山形に、今はずっと住みたいと思っています。



## 夢を叶えること

山形大学大学院理工学研究科  
博士後期課程3年

キン・ミヤツ・ソー



私は大学生の時にもっと高いレベルの勉強をしたかったのですが、それで、大学院に進学して勉強を続けるようになりました。その時、さまざまな研究をしている大学の先生方を見習っているうちに、ある日私もそのようになれるといいなあと思うようになりました。日本で勉強したことで、その夢を叶えることができました。2007年4月、日本の大学の一つである山形大学で最初に日本語を勉強しました。とても楽しかったです。いろいろな日本の文化の勉強ができるだけでなく、留学生たちとも、多くの文化や知識を交換できました。半年経ってから研究を始め、研究の材料である藻類を採集するために温泉がある所に行くようになりました。その時地元の方々から多くの面で良くしていただきました。そのおかげで、一人でもうまくできました。

研究室の先生方も学生の皆様も多くのことを家族のように親切に教えられました。国でも研究を続けて行きます。日本での4年間を思い出すと、いつも皆様のことを心から感謝せずにはいられません。

## 幻想的な日本

山形大学大学院理工学研究科機械システム工学専攻  
博士前期課程1年

リバス・エルネスト



昨年の4月にベネズエラから初めて日本に来ました。高校のときから日本に来るのが私の夢でした。日本の文化や日本語にいつも興味を持っていました。

現在、私は機械システム専攻の学生で、米沢市に住んでいます。米沢市は小さいまちですが、とても面白いです。今まで10以上の色々なイベントに参加しました。

特に印象深かったのは5月の上杉祭りです。侍の鎧を着て、河原でたくさんの人と一緒に合戦に参加しました（写真は交流風景を参照）。戦ったときには、川も渡りました。このときちょうど桜の花が満開でした。イベントの途中で、強い風が吹き、桜の花が桜吹雪となって、戦いの場に花びらが舞いました。この光景は本当にすばらしく、私は夢の中にいるのかと思うほどでした。とても幻想的でした。鎧を着るときにはルールがあって、20分ぐらいかかりました。少し驚きました。

また、7月には、米沢市小野川温泉で開かれた蛸祭りに行きました。温泉で出会った人は、ベネズエラの人間に会うのが初めてのようでした。そして、観光客が絶対に知らない蛸がたくさんいる秘密の場所を特別に教えてくださいました。そこでは100匹以上の蛸を見ることができました。本当にきれいでした。

8ヶ月日本で過ごし、自然の素晴らしさを感じています。今年の経験は永遠に忘れないでしょう。今まで雪を見たことが一度もないので、この冬の雪をわくわくしながら楽しみに待っています。今後もさらに積極的に日本文化や日本人の人々に触れたいと思います。これからも新しく面白くて美しいアドベンチャーを楽しみにしています。

## 支援団体の紹介

### 山形市国際交流協会(Yamagata city International Friendship Association)の紹介

#### 市民とつくる国際交流

山形市国際交流協会は、市民を主体とした幅広い分野における国際交流を推進し、諸外国との相互理解と国際親善に寄与することを目的に、在住外国人を対象とした日本語学習や生活情報の提供などの支援事業、市民が広く参加できる国際交流事業や翻訳などのサービス事業を展開しています。これらの事業は、カテゴリー毎にサポーターを募り、実行委員会を組織し企画と実施を行っており、興味・関心のある方は、年齢や国籍を問わず誰もが参加できる体制をとっております。

当協会のイベントといえば、万国軍団を編成する「花笠まつりパレード参加」、山形市の友好姉妹都市を紹介する「山形市国際友好姉妹都市まつり」、「ハロウィンパーティー」、旧正月を祝う「国際新年会」等々、たくさんの方が楽しみながら国際交流できるものを実施しております。当協会の事務所が山形駅西の霞城セントラルビルの2階にあることから、イベントは1階のアトリウムで開催することが多く、お陰様でいつも満員御礼の状況です。

このようなイベントは1日で終わってしましますが、前述のとおり実行委員会にて企画と準備を2～3ヶ月前から行なっております。実行委員は日本人が多数ですが、もちろん外国人も参加しており、留学生も含まれます。外国を紹介する手法や工夫には、留学生の意見は貴重なものであり、イベント内の随所に生かされています。「協会のサポーターとして活動することは楽しい。自国には国際交流協会のような団体はないが、帰国してもこのような活動がしたい。」と多くの留学生に言ってもらえることは、たいへんうれしく思います。

当協会は、平成23年8月で設立20周年を迎えます。設立当初に比べると、山形市の在住外国人登録者数は約4倍近くになり、それに合わせて当協会の事業内容も、「市民間交流」から「在住外国人支援」に比重が置かれるようになってきました。しかしながら、市民の方々から参画いただくスタイルは、今後も継続していきたいと考えております。



世界のイベントを紹介する実行委員会  
～クリスマスパーティーにて～

## 山形県留学生交流推進協議会総会・運営委員会 第22回総会・第38回運営委員会(合同会議)

第22回山形県留学生交流推進協議会総会及び同協議会第38回運営委員会が、平成22年2月19日(金)に山形大学事務局第一会議室において開催されました。

会議では、山形県における留学生の受入及び留学生支援や中国黒龍江省との新たな交流等について話し合いが行われました。

## 県民と外国人留学生との交流会

第22回山形県留学生交流推進協議会総会及び同協議会第38回運営委員会の合同会議の終了後、『県民と外国人留学生との交流会』が開催され、留学生による歌が披露されるなど和やかな雰囲気の中で相互の交流を深めました。

## 山形県留学生交流推進協議会 事務担当者研修会

今回で4回目となる山形県留学生交流推進協議会事務担当者研修会が、平成22年11月11日(木)に、山形大学を会場に開催され、7つの機関から23名が受講しました。

この研修会は、各高等教育機関の職員が留学生の資格外活動等についての入国管理局への申請取次を行うための資格を取得し、留学生への便宜を図ることを主目的として開催しているものです。

研修会では、講師としておいでいただいた法務省仙台入国管理局審査部門の工藤信裕統括審査官から、留学生に係る審査関係や取次制度、申請手続き等についての説明が行われました。



## 留学生地域交流事業

### 「大学コンソーシアムやまがた」の国際交流活動

「大学コンソーシアムやまがた」では、「加盟機関の留学生や学生と地域住民のみなさまとの交流場を設け、異文化や国際交流に対する理解を深める」ことを目的として様々な企画をしており、本年は「留学生の短期ホームステイ・プログラム」や芋煮会を行いました。

「留学生の短期ホームステイ・プログラム」は、国の施策としての「留学生30万人計画」に対応し、山形県の留学生数の大幅な増加を目指すための住環境整備方策の一つとして、留学生の長期有料ホームステイネットワークの実現を図ることを目標に、村山地区は2月に、庄内地区は3月に、それぞれ週末を利用して2泊3日で実施しました(前年度に続き2回目)。

中国、韓国、台湾、マレーシア、ラオス、カンボジア、ネパール、ミャンマー、アメリカ、オランダ、エストニア及びガーナからの留学生22名と19のホストファミリーが参加し、各家庭で週末を過ごし交流を深めました。日本で学びながらも、普段は寮や一人暮らしという留学生にとって「日本の家庭」を体験する良い機会となり、多少緊張はしつつも、一緒に餃子を作り、母国のお正月(春節祭)を家族とともに祝った中国の留学生や、「久しぶりの家族を味わった」と感想を聞かせてくれた留学生、母国料理を振る舞った留学生もおり、留学生活の良い思い出になったようでした。

また9月には「インターナショナル芋煮会すっべ!」と題し、地域の方11名、中国、台湾、韓国、タイ、エストニア及びオランダからの留学生19名、日本人学生13名、事務局3名の総勢46名が集まり芋煮会を行いました。芋煮会は東北特有の文化で、経験したことのない留学生も多く興味津々の様子でした。

心配された雨に降られることもなく、参加者が協力しながら調理し、出来上がったのも煮を頬張りながら、留学生のみなさんによる国・地域別紹介に耳を傾けました。概要紹介にとどまらず、料理の紹介、踊りの披露等もありました。地域の方からも、ホストファミリーとして留学生の受入経験をお持ちの方に代表としてエピソードをお話いただき、初秋の素敵なひとときを過ごすことができました。

「大学コンソーシアムやまがた」では今後も地域に根ざした面白い活動を続けていきます。



ホストファミリー宅で母国ミャンマーの料理を作るキンさんと、手伝うエストニアからの留学生ウイラさん



# 交流風景



万華スコープ2010 (山形県国際交流協会)



平和コンサート (山形市平和都市宣言実行委員会・東北文教大学短期大学部)



外国人留学生・研修生のための異文化交流事業  
(国際コミュニケーションレディスクラブ)



羽黒山とリンゴ狩り (庄内国際交流協会)



米沢上杉まつり (上杉まつり実行委員会)



留学生交流芋煮会 (東北芸術工科大学)



留学生のための「県内企業合同説明会」 (山形県・山形大学)



羽黒山登山 (鶴岡工業高等専門学校)



# 山形県留学生交流推進協議会会員名

	機関・団体名	職名等	氏名
高等教育機関	山形大学	学長	結城章夫
	東北芸術工科大学	学長	松本哲男
	東北公益文科大学	学長	黒田昌裕
	慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス	所長	富田勝
	山形県立米沢女子短期大学	学長	遠藤恵子
	東北文教大学・東北文教大学短期大学部	学長	内田英子
	羽陽学園短期大学	学長	研攻一
	鶴岡工業高等専門学校	校長	横山正明
	新庄コンピュータ専門学校	校長	村上國雄
国及び地方公共団体	山形地方法務局	局長	高村一之
	仙台入国管理局酒田港出張所	所長	菅原弘
	山形県	知事	吉村美栄子
	山形市	市長	市川昭男
	米沢市	市長	安部三十郎
	鶴岡市	市長	榎本政規
	酒田市	市長	阿部寿一

	機関・団体名	職名等	氏名	
経済団体	山形県商工会議所連合会	会長	清野伸昭	
	山形県商工会連合会	会長	小野木 覚	
	山形経済同友会	代表幹事	中山真一	
	(社)山形県経営者協会	会長	黒澤洋介	
	山形県農業協同組合中央会	会長	今田正夫	
	山形県中小企業団体中央会	会長	山本 惣一	
	(公益社団法人)日本青年会議所 東北地区山形ブロック協議会	会長	荒井 寛	
	(財)山形県国際交流協会	理事長	高橋 節	
	山形県青年海外協力協会	会長	加藤和宏	
	庄内国際交流協会	会長	梅津武雄	
国際交流関係団体	山形ロータリークラブ	会長	高橋一夫	
	山形北ロータリークラブ	会長	吉田真一郎	
	ライオンズクラブ国際協会 (332-E地区キャビネット事務局)	地区ガバナー	竹田 明	
	国際コミュニケーション レディーズクラブ	会長	井上みやま	
	社団法人米沢工業会	理事長	結城経治	
	(財)出羽庄内国際交流財団	理事長	榎本政規	
	国際日本文化研究会	会長	飯島武久	
	アースネットワーク米沢	会長	情野芳明	
	その他	(独)日本学生支援機構東北支部	支部長	鈴木研一

(順不同・敬称略)

INTERNATIONAL  
EDUCATIONAL  
EXCHANGE IN YAMAGATA

# 山形県留学生交流推進協議会運営委員会委員名

機関・団体等名	氏名
山形大学 副学長	小山清人
東北文教大学・東北文教大学短期大学部 国際教育センター長	後藤典子
山形地方法務局 人権擁護課長	富樫裕幸
山形県商工観光部観光交流局経済交流課国際室長	岩田 徹
山形市総務部国際交流センター所長	矢萩 栄次郎
山形県商工会議所連合会 幹事	三澤 栄治
山形経済同友会 副代表幹事	熊谷 真一

機関・団体等名	氏名
山形県中小企業団体中央会事務局長	安達 健三
山形県国際交流協会総務企画部長	安達 孝義
山形県青年海外協力協会理事	吉田 庸一
山形ロータリークラブ 幹事	高橋 勝幸
山形北ロータリークラブ 会長	吉田 真一郎
山形大学企画部国際交流ユニット長	山口 茂男

(順不同・敬称略)  
(平成23年1月1日現在)

## 高等教育機関等のホームページアドレス

- 羽陽学園短期大学 <http://www.uyo.ac.jp/>
- 慶義塾大学鶴岡タウンキャンパス <http://www.ttck.keio.ac.jp/>
- 新庄コンピュータ専門学校 <http://sca.core.ac.jp/>
- 鶴岡工業高等専門学校 <http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/>
- 東北芸術工科大学 <http://www.tuad.ac.jp/>
- 東北公益文科大学 <http://www.koeiki-u.ac.jp/>
- 東北文教大学・短期大学部 <http://www.t-bunkyo.jp/>
- 放送大学山形学習センター <http://www.ouj.ac.jp/>
- 山形県立産業技術短期大学校  
[山形校] <http://www.yamagata-cit.ac.jp/index3.html>  
[庄内校] <http://www.shonai-cit.ac.jp/>
- 山形県立農業大学校 <http://ynodai.ac.jp/>
- 山形県立保健医療大学 <http://www.yachts.ac.jp/>
- 山形県立米沢女子短期大学 <http://www.yone.ac.jp/>
- 山形工科短期大学 <http://www.yit.ac.jp/>
- 山形大学 <http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>
- 山形県 <http://www.pref.yamagata.jp/>

2011-1  
No. 22

## 山形県留学生交流推進協議会

**事務局** 山形大学企画部国際交流ユニット内  
**所在地** 山形市小白川町一丁目4番12号  
**TEL** 023-628-4926 **FAX** 023-628-4849  
**E-mail** rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

## 大学コンソーシアムやまがた

**事務局** 山形大学大学連携推進室内  
**所在地** 山形市小白川町一丁目4番12号  
**TEL** 023-628-4804 **FAX** 023-628-4078  
**E-mail** unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp